

発行日 令和7年1月23日(木)
 発行者 別府市立東山幼稚園
 別府市立東山小学校
 別府市立東山中学校
 校(園)長 谷川 芳明

学習資料を活用した内容について、ご紹介します。小学部3年生及び4年生では、総合的な学習の時間に「別府クイズ」を作成。クイズをつくる際に、子どもたちは「別府学」資料を参考にしました。クイズは授業支援アプリ「ロイロノート」を活用して、作成しました。

調べたことを整理しよう。

【どんなことがわかりましたか。】

別府は昔「あさみごう」と呼ばれていた。
昭和30年代から40年代は急激な温泉開発の時代だった。
1873年に、大阪との船が繋がったことによって、観光客が増えて、日本一の温泉地になりました。
下の写真は、地獄めぐりへ続く道路路ができたときの交通。

写真など



図4-3-4 明治前期温泉地間の交通の概況

明治前期温泉地間の交通の概況。この交通はおよそそのとおりであった。
[国史館蔵]

[illegible]

5時間目に、小学部4年生から6年生を対象に実施しました。別府市こども家庭課が各学校を巡回し、ヤングケアラーの説明や子どもの権利について、講話形式で行うものです。例年、実施しており、令和3年度に大分県福祉保健部が実施したアンケート結果では、「ヤングケアラー」を知らない子どもの割合が高く、課題となっていました。今回の取組は、子どもたちに周知することを目的としたものです。

[illegible]

給食時に給食センターから配布された「給食放送の原稿」を、児童が校内放送（機材は職員室内）で読みあげます。1学期と2学期は4年生から6年生、3学期は次年度への準備段階として、3年生も含めます。マイクに向かって、緊張気味な子、慣れて上手に話そうとする子、ややたどたどしい子、付き添ってくれている子。終了後には、職員室の職員が拍手と感想。そして教室に戻るその子に向けた、教室からの拍手は校長室にも聞こえてきます。